

持続的な成長を実現するための CSR重要課題とCSR目標

当社グループが目指すCSRの実現に向けて、CSR重要課題の特定とCSR目標を定めアプローチしています。
CSR重要課題は、サステナビリティ経営に向けて取り組まなければならないと認識した社会課題へのアプローチであり、経営課題と捉えております。そのため、各課題を各部門の業務計画へ落とし込み、業務として遂行しております。

CSR中期目標(2025年度)

環境・社会・人(命)に関わる課題に果敢にチャレンジし、価値創造企業を目指す。

2025年度CSR目標

持続可能について考える

CSR重要課題

	関連するSDGs	重要課題	アプローチ	中期目標(2025年度)	2025年度実行計画	2024年度実績	
環境 E	7 再生可能エネルギーの拡大 9 産業と資源効率の向上 12 つくばる責任	カーボンニュートラルの実現	CO ₂ 排出量の削減	電力の再生可能エネルギー化率72% 製造プロセスの改革・改善により生産効率15%改善	非化石証書の調達により、電力によるCO ₂ 排出量の約50%をオフセット 2030年までの省エネロードマップの再構築	電力の再生可能エネルギー化率44.8% 省エネ由来J-クレジットの購入によるCO ₂ 排出量の相殺2,301t-CO ₂ CO ₂ 排出量51.8%削減(2013年度比較)	
		製品のバイオマス化推進	製品のバイオマス化推進	石化由来原料割合60%未満	バイオマス由来製品の開発 バイオマス由来原料の調査および調達手段の検討	100%バイオマス由来新製品2シリーズを開発 ・RiKAeCool [®] (バイオマス由来の蓄冷剤) ・リカピノール [®] ND(100%植物由来のノナンジオール)	
		資源(水・燃料)の有効利用	廃棄物量の削減・再資源化量の増加 水使用量の削減	外部委託処理の廃棄物量削減 再資源化率の継続的改善 水資源の効率的で適切な利用	製造工程の安定化による製品廃棄の低減検討 排水処理システムおよび廃水設備の導入検討	蒸留歩留改善による廃棄物量の削減 廃棄物の自社処理を進め外部委託処理量を削減 水使用量実績3,369千m ³ 配管変更による水使用量の削減20千m ³	
		人・環境にやさしい製品の拡充	環境負荷低減に貢献する製品の開発・販売促進	環境負荷低減製品の売上数量の向上	環境負荷低減製品の販売促進 ・グリーンサイザー [®] (バイオマス可塑性) ・リカナチュラ [®] (化粧品原料向けエモリエント剤) ・エヌジェルブ [®] (工業用潤滑基剤向けエステル油) ・RIKACRYSTA [®] (結晶化促進剤) 環境負荷低減に繋がる製品の開発	環境負荷低減製品の開発および販売促進 ・リカナチュラ [®] (化粧品原料向けエモリエント剤) 開発:性能評価を実施し、提案力を強化 販売:ネイルオイル向けで採用が決定	
社会 S	5 ジェンダー平等の推進 8 働きがい、経済成長 12 つくばる責任	人権の尊重	人権を尊重する企業風土の醸成 人権侵害を防止する仕組みづくり	ハラスメント防止教育の実施(1回以上/年) 内部通報制度をはじめとした相談窓口の充実	コンプライアンス情報の定期配信による教育 内部通報制度をはじめとした相談窓口の定期的な周知	定年再雇用、一般嘱託を含む全従業員へのハラスメント研修実施 職場のハラスメント撲滅月間・人権週間に内部通報制度に関する事項を周知	
		多様な人材の育成と確保	人事評価制度改革 人材育成の充実 中途採用による多様化の促進 管理職に占める女性比率の向上	SPICE人材の育成・発掘 チャレンジを促す仕組みづくりと積極的な支援の実施 — 女性管理職割合7%以上	所属部署における行動・能力評価の着眼点を明確化し、目標設定と評価に活用 選択型研修における階層・等級別推奨コンテンツ表の活用 異業種キャリア人材の採用拡大 キャリア形成支援および育成	管理職評価を年度評価に変更し方針管理を強化 所属部署における行動・能力評価の着眼点明確化を開始 実効性の高い育成体系の構築を目指した等級毎に求められる能力の精査 中途採用割合43.9% 管理職に占める女性比率9.9%	
		安全で働きやすい職場づくり	健康経営の推進	健康診断受診率100% 再検査受診率80%以上	健康診断受診率100% 再検査受診率80%以上	年2回の健康診断実施および結果のフォロー	健康診断受診率100%
				保健指導およびカウンセリング受診率100%	保健指導(特定保健指導等)、メンタルヘルス面談の計画的な実施	特定保健指導受診率82.4%削減 保健師による保健指導面談の実施/計画的なメンタルヘルス面談の実施/健康に関する社内相談窓口の開設	
				喫煙者率20%以下	喫煙者率20%以下	禁煙の推進および支援 特定保健指導の実施	年2回の禁煙デーを定め、禁煙の呼びかけを実施/保健師による禁煙支援を実施/喫煙者率19.8%
				有給取得日12日以上/年	有給取得日12日以上/年	有給を取得できる環境づくりの推進(業務適正化など)により年10日以上以上の取得を目指す	目標達成率97.6% ・入社1~6年目までの取得目標:付与日数の1/2以上 ・入社7年目以上の取得目標:10日以上
		サプライチェーンマネジメント	安心安全操業(ゼロ災害、ゼロ労災)	トラブル発生件数15件以下/年、再発事例ゼロ	トラブル発生件数15件以下/年、再発事例ゼロ	休業労働災害0件/年	トラブル発生件数54件(前年比8件増加、休業労働災害2件)
				安全教育の実施1回以上/年	安全教育の実施1回以上/年	安全指導/KY活動指導:実施率 100%	安全指導/KY活動/トラブル確認/防災訓練立会:累計122回/年
				ワークライフバランスの推進	男性育休取得率100%	育休取得に対する職場理解を促す啓発活動の実施 育休ミーティングシートを活用した対象者と会社との丁寧なコミュニケーションにより男性育休取得率向上を目指す	男性育休取得率100%
				活力ある職場づくり	改善提案応募2件以上/人 従業員アンケートにて、「仕事にやりがいを感じている」と回答する人の割合80%以上	改善提案応募2件以上/人 従業員アンケートにて、「仕事にやりがいを感じている」と回答する人の割合80%以上	部署長が部署目標を設定し、改善提案応募2件以上/人の達成を推進 ワークエンゲージメント観測の継続
地域活性化への貢献	CSR調達の推進	CSR調達の構築	CSR調達の構築	サプライヤーとのCSRコミュニケーション確立	CSR調達方針およびガイドラインを策定、サプライヤーへ展開 ホワイト物流への賛同を表明		
		原料調達のBCP構築	原料調達のBCP構築	サプライチェーンリスク調査/原料の複数購買化の推進/エチレンセンター集約を想定した原料調達体制の見直し	購買取引先評価の実施70社/原料の新規複数購買化検討結果完了7件+検証中6件		
企業統治 G	12 つくばる責任 16 働きがい、経済成長	ステークホルダーエンゲージメントの実践	ステークホルダーとの対話の促進 開示情報の充実	投資家向け説明会・個別ミーティングの充実 統合報告書の発行	Web決算説明会の実施(2回/年) ニュースリリースの配信(28回/年)/次期中期経営計画の策定・開示	Web決算説明会の実施(2回/年) ニュースリリースの配信(26回/年)/CSR報告書2024の発行	
		リスクマネジメントの徹底	リスクマネジメント体制の構築	リスク管理のPDCAサイクルの確立と継続的改善	重要リスクの対応計画策定と実施	リスクマネジメントの新体制を整備/取締役会における重要リスクの選定	
		迅速果断な意思決定を支えるガバナンスの構築	取締役会の実効性の向上 役員報酬制度の見直し	実効性評価を通じたPDCAサイクルの確立 企業価値向上に資するインセンティブ報酬の導入	取締役会付議事項の変更(執行側への委任拡大) 指名・報酬諮問委員会における役員報酬体系の検討	機動的な意思決定を行うための取締役会付議事項の見直しを検討 指名・報酬諮問委員会の開催(4回/年)	